

# 顕微赤外分光光度計 顕微IR (Micro InfraRed Spectrometer)

## 原理

赤外光を試料に集光し、測定部位をアパーチャーで絞り、高感度半導体検出器で吸収光(透過または反射光)を検知する。

微小領域について、主に有機構造に関する情報が、赤外吸収スペクトルとして簡便に得られる。

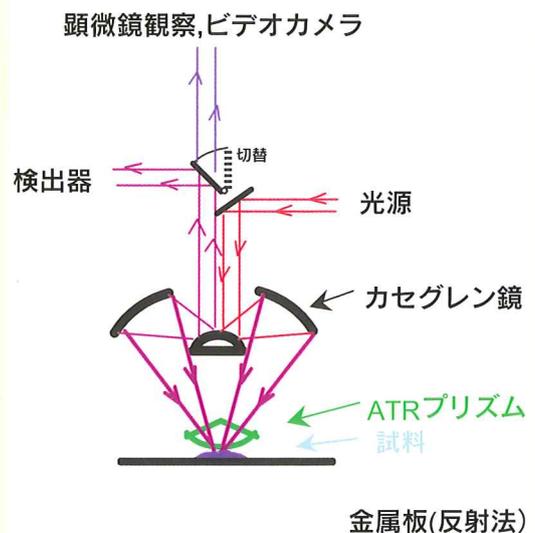
## 特長

最小測定領域は10 $\mu$ m四方(ATRでは30 $\mu$ m四方)。

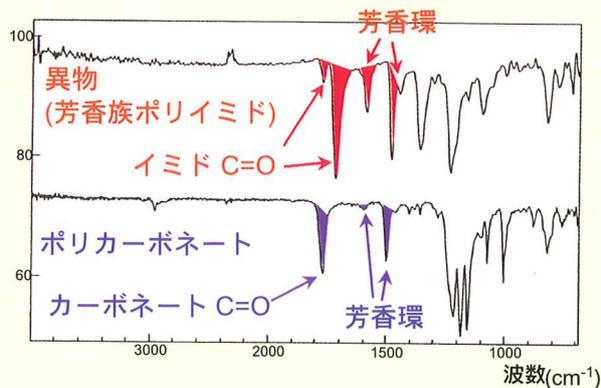
透過、(正)反射、全反射(ATR)法の測定ができる。

ATR法では、プラスチックの他、紙、ガラス、単繊維等の表面を、非破壊で測定できる。

## (ATR, 反射法)



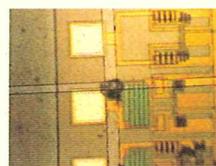
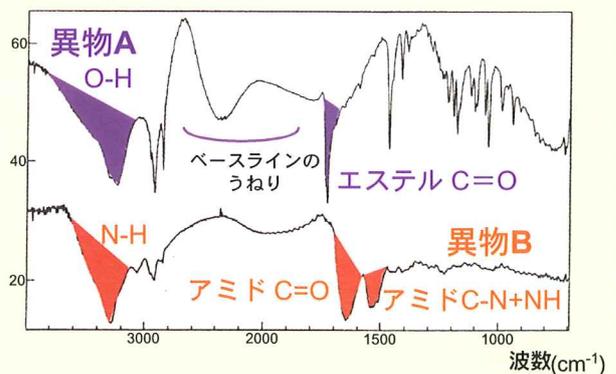
## ATR法



100 $\mu$ m

ポリカーボネート中の  
三日月状異物 (左写真)  
の分析

## 反射法



100 $\mu$ m

シリコン基板上の異物分析  
異物A: (左写真)添加剤  
異物B: チップ間異物  
(写真省略)  
皮膚角質(垢)

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851